

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 2年 2月 28日

事業所名 療育支援エフ 有田教室

保護者等数(児童数) 48名(50名) 回収数 25 割合 52%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19			6	戸外で遊ぶ時間があると嬉しいです	平日はカリキュラムを優先している為戸外活動が出来ませんが、休日に外出イベントを実施しております。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	19	1		5	日々、担当野方を教えてほしい	現状エフでは担当付けは行わず、職員全体で対応する体制をとっております。配置に関して有田教室では児童指導員4名(教員・社会福祉士等)、保育士2名、指導員1名配置しております。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11			14		玄関に段差がありますが室内はバリアフリーになっております。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	22	3				
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	19	4		2		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	3	7	12		
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	24					
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	23	1				
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	4	3	3	希望する保護者には、定期的に面談や相談を設けてもいいのでは？	担当者会議を年1回行いますが、それ以外でも面談のご希望がございましたらお気軽にお問い合わせください。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	3	10	8		
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	19	1	1	4		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	24	1				
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	19	2		4		
14 個人情報に十分注意しているか	17	2		6		職員に対し【個人情報保護に関する誓約書】にて周知徹底を行っております。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7	8		9		教室内にPOP掲示しております。また職員用にマニュアルを作成しております。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	3		11		年2回実施しております。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	23	2			いつも楽しかったお話聞いてます！	
	18 事業所の支援に満足しているか	22	3			毎土祝日にイベントがあったら嬉しいです	イベントについて努めてまいります。現状室内外出イベント併せて月3回程と計画しております。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 2月 28日

事業所名 療育支援エフ 有田教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8		教室間で人数の振り分け、タブレット利用による分散を行っている。	学習室が手狭になる事があるが、タブレット室と区別しうまく活用できている。
	2	職員の配置数は適切である	8		常に配置基準の人数よりも多く配置出来ている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	1	手すり、滑り止めを設置。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6			日々のミーティングでどのように支援していくか話し合っているが、意味を理解し行っているかとは違う為、伝えていく必要がある。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	5		外部の意見がエフの療育の妨げになる場合もあると思うので必ずしも必要とは思わない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		研修会の周知、参加の呼びかけを行っている。研修教材を活用し動画にて研修を行い、ミーティングの中で振り返りを行っている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7			アセスメントツールは用いていないが日々のミーティングでの話し合いは出来ていると思われる。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			紙ベースのカリキュラムの整理と仕分けを行っている途中であるが、うまく整理が済めば今以上に子供に応じたカリキュラムが素早く作れるようになると思う。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		個々の成長を記録し、レベルの調整を行っている。常に職員間で共有を行い選定している	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	2	休日長期休暇には平日の自由時間でできない事の立案実行。	特に長期休暇に関して何をするか細やかに決める事は出来ていないため、課題を設定立案する必要がある。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	1	平日は個別活動、休日は集団活動と分けて活動出来ている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8		毎朝1時間～1時間半のミーティングを行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	1	きちんとしたミーティングは午前中に行うため終了後には行っていないが、その日あった事を全員で話し共有出来ている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6				

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	2		該当者なし 受け入れる場合は必ず保護者様へ相談の上主治医と連絡体制を整えいつでも相談できる状況を作る。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	1		利用していた保育園との連携はないが、保護者の方からの情報提供を受けている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	1		該当者なし 就労移行、就労支援A型B型へ移行する場合は担当者会議を行い、それまでの支援内容等の情報共有を提供したい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		7		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	2		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		日々LINEや連絡ノート、送迎時に様子を伝えている。保護者様からは家庭での様子を共有していただいている。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4		LINEにて有効だった対応の共有に努めている。		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		6		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8			
	35	個人情報に十分注意している	8			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		7		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8			
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8			
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	1		研修はしていないが虐待防止等については日々職員同士で心がけている。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4			
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5			保護者を通し情報共有を行っている。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			